

こんにちは

うみ議会です



元気いっぱいの新1年生

歩みだそう!
次の100年



うみくん



みらいちゃん

20ページに関連記事を掲載

Koe Meter

声メーター

035

実施中!

議会広報が聞いたみなさんの声
2022.3から

まへへ

- 町に賑わいを ②
- 3月定例会 ④
- 町政を問う 一般質問7人が登壇 ⑩
- 委員会活動報告 ⑱



うみ議会だより
ホームページ
こちらにアクセス!

2023.5.15

No. 89

うみ議会だより
3月定例会

心が折れそうな時期を乗り越え 町に賑わいを

うみまち **HOT**
TROPICS

新型コロナウイルス感染症の第8波を乗り越えて、いよいよ脱コロナの雰囲気が見えてきました。

さまざまな事業を企画しながらも、度重なる感染拡大で中止に追い込まれましたが、各種イベントも開催できるようになりました。

今後も感染症対策を行いつつ、いかにして町に活力と賑わいを取り戻すかという時期に入ったと思われます。

議会からも、イベント会場に足を運び、共に楽しみながら主催者や参加者の声を聴き、支えていきたいと考えています。

3年ぶり脱マスクでの卒業式

この春卒業した中学生は、新型コロナの影響で入学式が行われませんでした。また小学生も修学旅行が県内で行われるなど学校行事に制限の多い学年でした。

卒業式では、運動会や体育会など全員で力を合わせて頑張った思い出が「答辞」や「別れの言葉」に込められ、新たな目標に向かって希望に満ち溢れた児童・生徒たちの顔を見ることができました。



原田小学校区コミュニティで^{たこ}凧揚げ



3月25日(土)に原田小学校区コミュニティ運営協議会主催の「凧揚げ大会」が開催され、満開の桜が咲く南町民センター芝生広場では、多くの親子連れで賑わいました。

思い思いの凧を揚げて楽しんだ子どもたちからは「久しぶりに走り回れて楽しかった」「桜の花がきれいな広場で凧揚げできて良かった」といった声があがっていました。

運営協議会の赤松会長は「コロナも収束に向かってるので、地域活性化のため住民の皆様が元気になるようなイベントを開催していきたい」と話していました。

特集

5月定例会

当初予算審査特別委員会

一般質問

委員会活動報告

全小中学校から力作が寄せられました 第43回町民文化のつどい



3月4日(土)・5日(日)に中央公民館と住民福祉センターで、町民文化のつどいが3年ぶりに開かれました。

オープニングでは、宇美東中学校吹奏楽部の演奏が披露され「久しぶりで緊張したけど、皆さんの前で演奏できたことが嬉しかった」との声が聞こえました。

作品展示の部では、文化サークルの皆さんや町内の小中学生から多くの作品が寄せられ、鑑賞に訪れた皆さんも目を見張っていました。

コロナ禍で開催準備を続けてこられた役員の皆さんは「全小中学校から作品が寄せられてよかった」と話していました。

「待ってました!」の喜びの声が 蹴-1グランプリ福岡大会 in 宇美町

3月5日(日)に総合スポーツ公園で「蹴-1グランプリ福岡大会 in 宇美町」が開かれ、議会も大会を盛り上げようと「うみギーンズ」として参加しました。

蹴-1グランプリは、2020年に宇美町とともに町制施行100周年を迎えた宮崎県都農町発祥のスポーツで、サッカーのPK合戦の要領で対戦します。

今回は一般の部32チーム、ジュニアの部5チームが、リーグ戦とトーナメント戦で激戦を繰り広げました。

特別ゲストに、元サッカー日本代表の山下芳輝さん、デフサッカー日本代表GKの松元卓巳さん、アンプティサッカー元日本代表の野間口圭介さんにも参加していただきました。

福岡大学女子サッカー部OGチームの「JOCERS」からは「ずっと待ち望んでいた大会でとても楽しかったです。来年は優勝を目指します」との感想でした。



うみギーンズと町長率いるドリームチーム



山下芳輝さんと松元卓巳さんによる始球式



「JOCERS」は、小さなお子さんと一緒に参加



3月定例会

「このまちが、いい。」 わたしたちの誇り 宇美 第7次宇美町総合計画を可決

3月定例会は、7日から23日までの17日間の会期で開かれました。

町長から提出された案件は当初予算案をはじめとする22議案が提出され、すべてを原案のとおり可決しました。

また、委員会発議1件を可決しました。

一般質問には7議員が10項目について質問しました。

宇美町総合計画策定

第7次宇美町総合計画を策定
急速な社会情勢の変化や多様化する町の課題を踏まえ、町の将来像を「『このまちが、いい。』わたしたちの誇り 宇美」とし、すべての町民が幸せを実感できる持続可能なまちを実現するために策定。
(全員賛成で可決)

問

全職員を対象に計画の全体像から個別の政策まで理解度を深めるために学習会を開催してはどうか。

答

職員が総合計画を認識して業務に当たる



老朽化した宇美小学校体育館



第7次総合計画書冊子

ようにさまざまな機会を捉え対応していく。

工事請負契約締結

令和4年度宇美小学校体育館外壁等改修工事

宇美小学校体育館は、建築後49年が経過しており、建物が老朽化。改修内容は、屋上防水・外壁、トイレの洋式化などである。

補正予算

※万円未満は四捨五入
令和4年度一般会計補正予算(第10号)

歳入歳出それぞれ2億4204万円を追加。予算総額147億2077万円。
主な補正は次のとおり。

○工事箇所

宇美町宇美三丁目9番1号
地内

○請負契約額

1億2298万円

○工事請負人

株式会社 岩堀工務店
宇美営業所

○落札率

98・94%

○工期

契約の効力の発生の日から
令和5年10月31日

◇ふるさと宇美町応援寄附事業費
1億6149万円増額

寄附の最終見込額5億円に對するシステム利用料、運営代行手数料、返礼品費用などの関連経費。

◇障害者自立支援給付費

5227万円増額

重度訪問介護、グループホームなどの障がい福祉サービスを受けるための経費。

◇荒廃森林整備工事請負費

706万円増額

町と森林所有者が協定を締結し、荒廃した森林を健全な森林に再生するため、間伐など森林整備を行う経費。

◇子ども医療費

463万円増額

疾病の発見と治療を促進するため、子どもに係る医療費の一部を保護者に支給する経費。

◇公園整備工事請負費

2200万円増額

ひばりが丘南公園ほか7公園にある耐用年数の9割を経過した遊具の更新に係る経費。
※防災・安全社会資本整備交付金を活用。

◇桜原小学校パソコン室間仕切り改修事業費

182万円増額

特別支援学級児童の増加に伴い余裕教室がないため、パソコン室改修工事を行い教室を確保する経費。

◇体育施設整備工事請負費

13万円増額

4月から開始する宇美南町民センター芝生広場の一般開放事業に伴い、利用に係る注意事項等を記載した看板を設置する経費。

(全員賛成で可決)

条例審査特別委員会 委員長 白水 英至議員

条例審査については、議長を除く議員全員による条例審査特別委員会を設置し、活発な質疑を行いました。
主な質疑を要約してお知らせします。

宇美町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
民法及び児童福祉法の一部改正により、親権者の懲戒権に関する規定が削除され、国の保育施設等の運営基準も同様に改正されたため。

問 今後、子どもが社会通念上、やつてはならない行動を行った場合にどのように指導していくのか。

答 国も体罰によらない子育てを推奨している。町としてもガイドラインに沿って、保護者と十分に接しながら、子育てをサポートしていく。
(全員賛成で可決すべきものと決定)

宇美町歩み出そう次の100年基金条例の一部改正

宇美町歩み出そう100年基金を延長するための改正。

問 100年基金を延長すること、具体的な活用を考えているのか。

答 町民の誰もがともに参加できるような事業と、町の活性化に直結するような場所で賑わいを生み出すための事業をテーマにした2つの事業を実施したい。

問 ふるさと納税を新たな基金として、計画的な使用や寄附された方の想いに沿った予算編成を実行できないか。

答 新たな基金を創設する方向で話を進めているが、基金の創設時期や運用方針など、令和5年度に議論していく。
(全員賛成で可決すべきものと決定)

宇美町個人情報の保護に関する法律施行条例

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行による個人情報の保護に関する法律が改正されることに伴い、町の条例を新たに制定。

問 国のやり方に合わせる」と自治体の独自性が失われてしまい、町独自の個人情報保護の規制が制限されてしまっているのではないのか。

答 国はデジタル化について、各自治体で同じ取扱いをするよう法律改正している。当町の個人情報の取扱いは、今までと変わらない。

反対討論 鳴海 圭矢議員
個人情報不正利用、不当に使われないように関与する権利、情報の自己決定権等がいかに保障し、法の中で位置づけていくのが一番の急務ではないかと考えているため、反対とする。

賛成討論 安川 禎幸議員

今回の改正は、全国的に行われるものであり、デジタル化の時代において、逆に個人情報を守るための改正と捉えているため、賛成とする。

(賛成多数で可決すべきものと決定)

委員会発議

宇美町議会の個人情報の保護に関する条例

提出者 議会運営委員会

委員長 藤木 泰

デジタル社会の形成を図るため関係法律の整備に関する法律の施行により個人情報の保護に関する法律が一部改正された。これに伴い、宇美町議会が保有する個人情報の適切な取扱いが確保されるよう、全国的な共通ルールで議会の条例を新たに制定。
(全員賛成で可決)



こどもみらい課の窓口にお越しください

● 宇美町妊産婦応援事業(新規事業)
【予算:120万円】

妊産婦が安心して出産や育児ができる環境を整えるための経費。事業内容は、ヘルパー派遣助成、タクシー利用助成などがある。

新規事業のため、広報・SNS等での周知に期待する。



▲ガバメントクラウドファンディングを募る相撲場のイメージ

ホームページはこちらから ▶



● ふるさと宇美町応援寄附事業
【予算:2億6,369万円】

ふるさと宇美町応援寄附金に対する代行手数料、返礼品費用、配達料、広告料などに係る経費。

本年度は前年度を超える寄附額になることを期待する。

主な予算の使い道

(万円未満四捨五入)

駅前広場トイレの現状



● JR宇美駅前広場整備工事請負費
【予算:450万円】

JR宇美駅前広場のトイレ洋式化などの改修工事経費。

利用者の利便性と駅前広場の魅力の向上に期待する。



小さな子どもが安心して使えるスケボー場に

● 一本松公園スケートボード場
第2期整備工事請負費
【予算:300万円】

以前から要望があった一本松公園スケートボード場の路面範囲を拡大する経費。

利用者・町内土木業者・町職員による協働事業の推進が期待される。



第一避難所としても利用される町立武道館

● 武道館改修工事実施設計
業務委託料 【予算:810万】

指定避難所である武道館のトイレおよび空調機の改修工事に係る設計のための経費。
避難所としての利便性向上、武道、スポーツの振興につながることを期待する。



須恵町のスマートインターチェンジ

● 宇美スマートインターチェンジ
設置検討調査業務委託料
【予算:1,370万円】

宇美町を縦断する九州縦貫自動車道へのIC設置を検討するため、現状を把握し、将来交通量推計や整備方針を調査するための経費。
早期実現に期待する。

令和5年度 一般会計

議会が注目した

側溝に覆いかぶさっていた樹木を剪定



● 町有地樹木管理業務委託料
【予算:531万円】

町有地のり面内に設置されている小段側溝の排水機能を保持するため、樹木等の伐採・剪定に要する経費。令和3・4年度に引き続き実施する。
・対象地:四王寺坂二丁目地内
大規模災害を防止するため、令和6年度以降も実施されることを望む。

宇美駅前の防犯カメラ(参考)



● 防犯カメラ設置補助金
【予算:100万円】

自治会等が行う街頭犯罪等防止対策を目的とした防犯カメラの設置に要する費用の一部を補助する経費。
・町の補助限度額 1台につき25万円
1団体につき年間4台まで
さらなる安全で安心なまちづくりを期待する。

当初予算審査特別委員会

委員長 黒川 悟 議員

当初予算審査については、議長を除く議員全員による当初予算審査特別委員会を設置し、活発な質疑を行いました。主な質疑を要約してお知らせします。

後期高齢者医療会計

問 後期高齢者医療の対象被保険者数は。

答 令和4年3月末で4552人。

問 全国的に見ても大変高い医療費となっている。令和5年度の取組は。

答 医療費の適正化のために特化した体制を機構改革で検討している。新たな部署を設け、医療費の削減等に向けて取り組んでいかなければいけない。

問 今後、団塊の世代の被保険者増により、保険料の負担が増えるのでは。

答 被保険者の増加により、段階的に保険料の負担額は増えてくる。収入に応じた負担のあり方を国が検討しているため、所得の低い方の負担増はないと考えている。

反対討論 鳴海 圭矢議員

この医療制度は、後期高齢者の命と健康を守るための制度であるが、今後、保険料の負担増となる可能性が非常に高い。この医療費制度の廃止を訴え反対とする。

賛成討論 安川 禎幸議員

団塊の世代の被保険者が増加するが、それを世代間で支える必要がある。その中核となるのがこの制度であり、この制度を堅持する必要があるため賛成とする。

(賛成多数で可決すべきものと決定)

国民健康保険会計

問 国民健康保険の被保険者数は。

答 令和5年2月で7109人。

問 国保税の滞納状況は。

答 令和3年度で946世帯。100万円以上の滞納は66世帯。

賛成討論 鳴海 圭矢議員

景気が低迷し、苦しいからこそ、町民の命と健康を守るこの制度の果たす役割は大きい。今後、出産育児一時金も増額されることなどを評価し、賛成とする。

(全員賛成で可決すべきものと決定)

上水道事業会計

問 福岡地区水道企業団等からの受水費が増額となっている要因は。

答 五ヶ山ダムの受水費が100%減免されていたが、令和5年8月から80%減免となることにより増額となるもの。

問 水道料金の値下げは可能ではないのか。

答 施設の更新に対する資金確保が必要なため、料金の値下げは難しい。

賛成討論 鳴海 圭矢議員

他の自治体に水を融通するなど担当課の努力を評価するとともに、今後、企業団の構成団体で受水量の調整が行われることを期待して賛成とする。

(全員賛成で可決すべきものと決定)

下水道事業会計

問 高岸地区の道路復旧工事を何度も行っているが、その要因は。

答 地下水の変動等の影響で道路の沈下や陥没が発生したと判断している。

問 今後の下水道整備計画は。

答 令和5年、6年度で貴船4丁目地区の整備を計画している。

賛成討論 平野 龍彦議員

年次計画に則り築造工事が行われる計画となっており、下水道法第1条にある都市の健全な発達、公衆衛生の向上などが推察されるため賛成とする。

(全員賛成で可決すべきものと決定)



五ヶ山ダム

審議した議案と各議員の賛否

○は賛成 ×は反対を表しています

議案名	議員名											審議結果	討論
	小林孝昭	安川禎幸	高橋紳章	丸山康夫	平野龍彦	安川繁典	入江政行	黒川悟	鳴海圭矢	白水英至	藤木泰		
宇美町個人情報の保護に関する法律施行条例	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決	
令和5年度 宇美町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	可決	

※古賀ひろ子議長に表決権はありません

全会一致で承認・可決した議案

議案名	
第7次宇美町総合計画	地方自治体が事業を進めるための最上位計画 計画期間：令和5年度～令和12年度
町道路線の認定	路線名：四時田団地7号線 起点：ゆりが丘二丁目457番16 終点：ゆりが丘二丁目457番18
町道路線の認定	路線名：早見17号線 起点：宇美中央四丁目3580番10 終点：宇美中央四丁目3580番2
町道路線の認定	路線名：浦尻1号線 起点：明神坂三丁目5386番37 終点：明神坂三丁目4549番46
工事請負契約の締結	令和4年度 宇美小学校体育館外壁等改修工事 請負契約額：1億2298万円 工事請負人：株式会社岩堀工務店宇美営業所
令和4年度 宇美町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	288万円増額し、予算総額5億1031万3000円
令和4年度 宇美町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	1億3621万3000円増額し、予算総額44億6882万9000円
令和4年度 宇美町上水道事業会計補正予算(第6号)	収益的収入613万円増額し、計8億1486万1000円 収益的支出824万1000円減額し、計7億8365万9000円
令和4年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計補正予算(第3号)	収益的収入50万5000円増額し、計9億4720万6000円 収益的支出721万6000円増額し、計8億7581万7000円 資本的収入900万円減額し、計5億4342万1000円 資本的支出953万3000円減額し、計8億6491万6000円
令和4年度 宇美町一般会計補正予算(第10号)	2億4203万5000円増額し、予算総額147億2076万5000円
宇美町国民健康保険条例の一部改正	出産育児一時金合計50万円
宇美町重度障がい者医療費の支給に関する条例の一部改正	居住地特例の対象に養護老人ホーム等を追加
宇美町上水道給水条例の一部改正	ライフライン設備の設置・使用権に関して新たな規定
宇美町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	児童虐待防止を図る観点から、民法及び児童福祉法に規定されていた親権者の懲戒権を削除
宇美町歩み出そう次の100年基金条例の一部改正	令和5年3月31日で効力を失うとする附則の失効規定を削除
宇美町会計年度任用職員の給与の特例に関する条例の一部改正	町立保育園に勤務する会計年度任用職員の期末手当期別支給割合を1.275月分に据え置く
令和5年度 宇美町国民健康保険特別会計予算	予算総額42億4601万2000円
令和5年度 宇美町上水道事業会計予算	収益的収入8億1462万8000円 収益的支出8億618万8000円 資本的収入1億3441万9000円 資本的支出3億6082万3000円
令和5年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計予算	収益的収入9億3795万9000円 収益的支出8億6654万9000円 資本的収入5億1884万9000円 資本的支出8億3935万6000円
令和5年度 宇美町一般会計予算	予算総額126億4949万3000円
宇美町議会の個人情報の保護に関する条例	個人情報の保護に関する法律が一部改正されたことに伴う条例の制定

一般質問 町政を問う7人が登壇!

高橋 紳章 議員 ——— 11P

◆ 地域災害の防止に向けた取組は

丸山 康夫 議員 ——— 12P

◆ 将来の公共交通網をどう構築するのか
◆ 買い物弱者への支援強化を

黒川 悟 議員 ——— 13P

◆ 安心して安全な子育て環境の整備は

入江 政行 議員 ——— 14P

◆ 不登校児童・生徒の対策は
◆ 部活動地域移行により課題山積

安川 禎幸 議員 ——— 15P

◆ こども教育総合支援センター
「うみハピネス」の今後の構想は

平野 龍彦 議員 ——— 16P

◆ 第2子(0～2歳児)の
幼児教育・保育料完全無償化を

鳴海 圭矢 議員 ——— 17P

◆ 国民健康保険均等引き下げを
◆ 小学校における動物飼育の実態は

緑道公園と桜のトンネル(光正寺地区)

旧国鉄勝田線の跡地を利用した緑道があり、町を縦断しています。

宇美町内4.6km、志免町と合わせて全長約10kmあり、日本一の緑道と言われています。

所々に日本庭園や桜並木があり、勝田線の遺構を散策しながらお花見も楽しめます。

一般質問とは定例会で行われ、議員が町政全般について、町長などの執行機関の考え方や方針などを伺います。

録画配信しています

各議員の質問のようすを動画でご覧いただけます



たかはし のぶあき
高橋 紳章 議員

地域災害の 防止に向けた取組は

答 防災ハザードマップの配布、 避難指示による安全確保



録画配信はこちらから

問 ひばりが丘三自治会のグラウンド付近にあるのり面に設置されている側溝(U字溝)が、枯葉等で埋もれた状態だが対策は。

答 都市整備課長

側溝(U字溝)は雨水等を速やかに排水することでのり面の安定に必要な排水機能を持つ構造物であるため、側溝内の枯れ木、落ち葉は定期的な点検および撤去が必要。状況に応じて委託業者もしくは職員による側溝内の支障物の撤去および補修等を実施している。

問 のり面の上層部に木々が覆い茂り、枯れ木等の倒木が見られるがその伐採対策と実施時期は。

答 都市整備課長

倒木については緊急性が高いと判断しており、令和5年度3月末までには撤去を考えている。

また、のり面上層部の山林部分については、大野城市との境界でもあるため、令和5年度に大野城市と施工方法や管理方法等について協議し対策を講じていきたい。

問 のり面に附帯しているコンクリートの剥離、空洞化および亀裂が生じているが、補修対策と実施時期は。

答 都市整備課長

平成23年度にのり面の湧水処理、表面の浸食防止としてモルタル吹きつけ、のり枠等の点検、表面の排水用側溝の設置を行った。10年以上経過後の現在は、モルタル吹きつけや側溝にひび割れが生じている状況を確認している。

令和5年度に、国の指針に基づき点検を実施し、修繕計画を策定後、順次、工法の検討を行った上で対策を講じたい。

問 都市計画道路志免宇美線の拡張工事に伴う浸水対策の進捗状況は。

答 都市整備課長

道路を整備するにあたり、雨水計画を立て、水利組合や福岡県土整備事務所と協議を行っている。

農業用水路を道路の雨水排除機能と併用する計画で、これまで宇美川に排出していた雨水を井野川へ分流することで、平成地区の浸水軽減に繋がると考えている。

問 町内には災害危険個所が多数あると思うが、災害防止対策の方針はどのように考えているか。

答 都市整備課長

長大のり面等は、その多くが団地造成期に設置されており、数十年が経過している。住民生活に影響を及ぼすようなのり面を対象に、国の指針に基づ



ひばりが丘三自治会のり面

き点検を実施し修繕計画を策定した後、順次工事に着手していく考えである。
ソフト対策としては、防災ハザードマップの配布や周知、大雨や台風接近時等には避難所を開設し、早期の高齢者等避難や避難指示を発令し、安全を確保することとしている。

将来の公共交通網を どう構築するのか ～地域交通計画の策定方針は～



まるやま やすお
丸山 康夫 議員



録画配信はこちらから ▶

答 中心市街地の活性化や
観光・文化資源との
連携強化を盛り込みたい

問 福岡都市圏の大半の自治体では人口が増加しているが、当町では横ばいから若干の減少傾向が続いている。
人口減少に歯止めをかけ、増加に転じるためには、将来の公共交通網を具現化する「地域交通計画」が大変重要である。
本計画の趣旨及び策定期間は。
答 まちづくり課長 「誰もが利用しやすい持続可能な地域公共交通ネットワーク構築の実現」を趣旨とし、利便性の高い公共交通の維持・確保と、町財政の健全性の両面に配慮している。
令和4年6月に着手し、令和6年3月に策定を完了する。
計画期間は令和6年4月から令和11年3月までの5年間。

問 宇美町地域公共交通活性化協議会」を設置している。
副町長を会長とし、西鉄バス、JR九州、町内タクシー事業者、住民代表者が委員として参画している。
今後は議員も委員として参画することを計画している。
答 まちづくり課長 「宇美町地域公共交通活性化協議会」を設置している。
副町長を会長とし、西鉄バス、JR九州、町内タクシー事業者、住民代表者が委員として参画している。
今後は議員も委員として参画することを計画している。

問 西鉄バス「宇美」太宰府線」の発着をJR宇美駅前広場に変えるなどコース変更は本計画の対象になるのか。
答 まちづくり課長 西鉄路線バスのコースや発着地点の変更も本計画の対象となる。
問 JR香椎線の便数の増加や宇美駅の無人化の解消は、本計画の対象になるのか。
答 まちづくり課長 現段階で本計画に盛り込めるかどうかは定かではないが、香椎線の便数拡大や宇美駅の無人化の解消も計画の対象となる。

問 総合計画や総合戦略と本計画の整合性は。
答 副町長 第7次総合計画や今後改定を予定している総合戦略との整合性を図る必要がある。
オンデマンドバスのりと宇美を活用し、JR宇美駅周辺の中心市街地の活性化をはじめ、一本松公園や日本遺産の大野城跡などの観光・文化資源との連携強化を本計画に盛り込みたい。

買い物弱者への支援強化を
地元スーパーと連携できないか



ターミナル化が望まれる
宇美駅前広場



4月に開所されたのりと宇美の待合室



くろかわ さとる
黒川 悟 議員

安心で安全な 子育て環境の整備は

答 町の財源が許す限り教育投資を行い、少子化対策につなげたい



録画配信はこちらから

問 急速に進む少子化・人口減少に歯止めをかけるためには、子育て支援の強化が欠かせない。産前産後のサポートや産後ケア等を行う事業が重要だと思いが見解は。

答 こどもみらい課長
当町の支援事業を見直すと、産前産後のサポートや産後ケアについて十分な支援体制が取れていないことが明らかになった。特に、ここ数年コロナの影響により里帰り出産等ができなかったことで、妊産婦さんは孤独感や不安感があったと伺った。このため、令和5年度より妊産婦応援パッケージ事業(仮称)を実施する予定。具体的には、妊婦健診や出産のための入院時に利用できるタクシー料金の助成、産前産後の家事・育児ヘルパーの利用助成等、必要な方に必要な支援が

届くよう、支援の組み合わせが自由な当町独自のパッケージとした。妊産婦さんの声を聞き、将来的に支援内容を増やしていきたいと考えている。

問 子どもをめぐる状況は深刻であり、虐待やいじめ、不登校、自殺も増え、子どもの居場所づくりとして、積極的に子ども食堂の整備を進めるべきと思うが、当町の支援状況は。

答 健康福祉課長
子ども食堂は、子どものためだけではなく、子育て中の親や高齢者、引きこもりの若者の居場所となり、子どもの貧困対策や、食育、高齢者の生きがいづくりなど、多くの機能を持っている。当町が行っている支援は、補助金交付や就学支援対象のご家族に活動の周知、食品を保管する場所の提供や消費期限の近い備蓄用食

料の提供など、各課が状況に応じた支援を行っている。

また、貧困や不登校のように専門的な支援を必要とする子どもなど、地域では解決が難しいケースについては、町が連携し子ども食堂が問題を抱え込むことなく、安心して活動できる環境整備を支援していきたい。

問 少子化対策として、誰もが安心して子どもを産み育てられ、十分な教育が受けられる環境整備が重要だと思いが。

答 教育長
少子化問題は、教育問題にとどまらず、社会問題として捉え、町全体で取り組む必要がある。第7次宇美町総合計画にあるように、子どもを安心して産み育てることができるよう、子育て教育を支援していく施策が必要で、誰一人取り残さない充

実した教育の展開が重要だ。

教育委員会として、特に学習支援の充実、生徒指導・進路相談の充実等を踏まえた対策を進めていく。教育の質の向上に投資し、教育格差をなくしていくことが少子化対策につながるものと考え、今後も取り組んでいく。

問 子育てのまちにふさわしい独自の支援策は。

答 教育長
財政支援に関して、町独自で取り組んでいる既存の制度の充実と新たな取組に向け、関係各課で協議し、町の財源が許す限り教育投資を行い、少子化対策につなげることが重要だ。



いりえ まさゆき
入江 政行 議員

不登校児童・生徒の対策は

答 不登校対策に全力で取り組んでいる



録画配信はこちらから ▶

問 不登校は、学校に登校していない状態を示し、また、登校拒否とも言われている。小学生の不登校の原因の上位は、無気力、不安、親子の関わり方、生活リズムの乱れ、遊び、非行などがある。不登校の定義と当時の現状は。

答 学校教育課長 不登校の定義とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により登校しない、したくともできない状況にあるため、年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いた者である。当町の令和5年1月末の不登校児童・生徒数は、小学生55名・中学生113名。

問 令和3年度の文部科学省が不登校児童・生徒に行った実態調査結果では、小中学校の全国不登校者数は、24

万5千人と大幅に増加。学校を休みたいと思うきっかけは、小学生は先生のこと、中学生は身体の不調、勉強が分からぬ、先生のことであった。

問 当町の不登校対策は。

答 学校教育課長 不登校対策のうち、次の3点に絞って、全力で取り組んでいる。①魅力ある学校づくりを目指し、子どもたちが楽しく学校に通えるように授業改善を行うこと、学校適応感を育むことや、「Q.U.アンケート調査」を活用し、客観的視点で学級づくりを行う。②不登校の兆候が見られる児童・生徒を早期発見し、スクールカウンセラーや教育相談室を活用しながら、早期対応を行う。③児童・生徒に応じた支援体制の強化として、マンツーマンの対応、適応指導教室などの居場所づくりを行う。

問 児童・生徒が相談できる養護教諭、スクールカウンセラー、不登校対応の加配教員の活動状況は。

答 学校教育課長 養護教諭は、各学校に1人配置し、スクールカウンセラーは県からの配置となり、宇美中学校区に1名、東中学校区と南中学校区に1名、計2名を配置。また、各学校の年間配置時間が決められている。平均的には、中学校に週1日、小学校に月1日～2日常駐している。

問 令和元年10月文部科学省通知の不登校児童・生徒への支援の在り方では、フリースクールとの連携について記している。当町のフリースクールとの連携体制は。

答 学校教育課長 フリースクールは、民間の機関となるため、特に連携はしていない。ただ、フリースクールに通う児童・生徒がいる場合は、教職員がフリースクールに出向き状況確認を行う。当町の適応指導教室が同様な対応を行っている。

部活動地域移行により
課題山積

各種相談窓口
(子育て関係)
はこちら



こども教育総合支援センター 「うみハピネス」の今後の構想は



やすかわ よしゆき
安川 禎幸 議員



答 子育て・教育の拠点化に向けハード、ソフトの両面から整理していきたい

録画配信はこちらから

問 公共施設再配置計画とはどういふものか。

答 管財課長

次世代に良好な公共施設を引き継ぎ、健全な財政運営につなげることを目的とするもの。現在、令和5年度末完成に向けて本計画の改定に着手している。

問 同計画における「うみハピネス」の位置づけと今後の計画の方針は。

答 管財課長

施設の長寿命化を図り、最大限の利活用を図る施設となる。改修においては施設の長寿命化、他の機能との集約化、複合等の検討も併せて行う。

問 教育相談室、適応指導教室といった学校教育関係施設の集約化についての考えは。

答 学校教育課長

施設の集約化については連絡、連携がスムーズになることが考えられる。一方で児童

生徒、保護者への配慮が必要な部分やスペースの問題等も考えられるため、今後十分に協議する必要がある。

問 第7次宇美町総合計画の重点事業とされている「こども家庭センター」とはどういうものか。

答 こどもみらい課長

「こども家庭センター」とは、現在設置されている「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」の2つのセンター機能を併せて持つもの。保健、福祉で区切ることなく家庭、保護者、子どもへの支援を一体的に行う機関となっており現在、設置準備を進めている。

問 療育支援センターすくすくを「うみハピネス」へ集約することで一層の機能強化がはかれると思われる。集約の考えは。

答 こどもみらい課長

母子保健、子育て支援事業との調整と、療育センター利用者の視点に立って協議を進めたい。

問 子育てしやすいまちを実現するため、今後「うみハピネス」は宇美町の子育て・教育の中核施設と位置づけられると考える。子育て・教育拠点化の構想の考えは。

答 教育長

これまで分かれていた子ども関連の施策を集約・一元化することで円滑な支援ができるようになると考えている。

専門性を持った機関・体制であること、地域資源を有機的につないだソーシャル機能を持つこと、チームで支援する体制の構築が大切。ハード、ソフトの両面から整理していきたい。

問 未来の宇美町の子育てと教育の将来像は。

答 教育長

第7次宇美町総合計画や宇美町教育振興基本計画に沿って積極的で主体的な学びを充実させる必要がある。

宇美町が有する豊かな自然や歴史、地域社会などの強みを生かし、新しい時代に対応した宇美町ならではの教育施策を進めることが宇美町の将来像である。「このまちが、いい。」わたしたちの誇り「うみ」を具現化する取組になると思う。



うみハピネス

第2子(0~2歳児)の 幼児教育・保育料完全無償化を

答 国の動向を注視する



ひらの たつひこ
平野 龍彦 議員



録画配信はこちらから ▶

問 本町は糟屋郡内で少子化の傾向にあるが、糟屋郡内の人口動態は、
答 住民課長

【出生数】	
宇美町	266人
志免町	395人
須恵町	234人
粕屋町	558人
篠栗町	263人
久山町	70人
新宮町	359人
【自然増減】	
粕屋町	195人増
宇美町	142人減
【社会増減】	
須恵町	290人増
宇美町	11人増
【合計特殊出生率】	
宇美町	1.56
新宮町	1.88

問 本町の人口減少の要因は。
答 住民課長

自然減が社会増より上回っているため人口が減少、仮に出生数が増加し自然増に転じれば、人

口増加になる。

問 平成27年度から今日までの子ども・子育て支援事業の主な内容は。
答 こどもみらい課長

待機児童対策として保育所整備を行い、町立保育園2園の民営化および7施設の新規開園で保育施設は14施設となり、定員は600名から882名と282名の受け入れ増となった。

問 家庭環境の変化で養育支援者が増えているが、子ども・子育て支援事業の検証は。
答 こどもみらい課長

宇美町子ども・子育て会議で、達成状況の点検・評価を行い、改善に取り組んでいる。

問 南町民センターやまなびや・うみなど、各中学校区に未就学児を抱える親子の居場所がないか。
答 こどもみらい課長

各施設の利用状況を考慮し、関係者と協議をする。

問 複合遊具や送迎バスの体験を行う博多第二幼稚園に限らず、他の幼稚園や保育施設でも未就学児を抱える親子に園庭開放ができないか。
答 こどもみらい課長

保育・幼稚園施設と連携して、園庭開放を行い、親子の触れ合いや相談ができる居場所の提供を令和5年度の早い時期にできればと考えている。



園庭体験でシャボン玉に夢中の親子!

問 乳児全戸訪問や乳児健診の現状は。
答 こどもみらい課長

乳児全戸訪問と乳児健診のいずれかにおいて、すべての親子に面談ができています。

問 育児の経済的な負担軽減のため、第2子(0~2歳児)の幼児教育・保育料完全無償化を行い、安心して子育てしやすい環境整備ができないか。
答 こどもみらい課長

0歳から2歳までの第2子の完全無償化については、保育施設を利用している子どもに限定されるため、すべての方が安心できる子育て支援の充実や施設の整備に取り組んでいく。

国も子ども政策の強化について検討しているようなので動向を注視する。



なる み けい や
鳴海 圭矢 議員



録画配信はこちらから

国民健康保険均等割 引き下げを

答 町独自の減免予定はない

問 2014年に行われた地方関係団体のヒアリングでは、協会けんぽの保険料並みに負担率を引き下げられるには、約1兆円の公費が必要との全国知事会の提言があったが、どのように受け止めるのか。

全体世帯数	4569世帯(令和5年1月時点)	
・年収0～100万以下	2513世帯	55%
・年収200万円以下	1013世帯	22.2%
・年収300万円以下	455世帯	10%
・年収500万円以下	258世帯	5.6%
・年収1000万円以下	134世帯	2.9%
・年収1000万円超	36世帯	0.8%

問 当町における国民健康保険の加入世帯の構成は。
答 住民課長

問 子どもの数が増えるほど国保税が引き上げられる均等割だが、全国の自治体の中には独自の減免制度に取り組んでいる所もある。子育て支援の意味も込めて町独自の施策は考えられないか。
答 住民課長

問 国保特別会計の収入の中で均等割が占める割合は。
答 住民課長
令和4年4月時点での全体の賦課額に対する割合は、均等割23・82%、所得割61・37%、平等割14・81%。

答 住民課長
当町としては全国知事会、全国町村会と同様に、毎年3400億円の公費投入を確実に実施すること、子どもに関わる保険料の軽減措置についても対象範囲や軽減割合の拡大を国が検討する必要があると受け止めている。

問 この減免による減収分については、一部を除き調整交付金の対象となっているが、町独自の減免を設けると補助の対象とならないため、減収分の取扱いが課題となる。
福岡県国民健康保険運営方針にも地域の実情に応じた保険料水準の均一化の取組は、令和6年度以降も継続して協議される予定と

当町は地方税法第703条の4および国民健康保険税条例に基づいて賦課している。未就学児の均等割軽減についても同様に地方税法第703条の5および国民健康保険税条例第24条に基づいて減額している。現在当町における国保税の減免は国民健康保険税条例第28条に基づき、災害やその他の特別な事情によって生活が著しく困難になつた方々を対象としている。

なっており、当町独自の減免を実施する予定は今のところはない。しかし、全国知事会や全国町村会からも同様の要望が出ているため動向を注視したい。

小学校における動物飼育の実態は

令和5年度 国民健康保険税の税率	応能割	応益割		賦課 限度額
	所得割 加入者の 所得額に対して	均等割 加入者1名当たり	平等割 所得等に関係なく 1世帯当たり	
医療保険分	9.05%	28,000円	29,000円	650,000円
後期高齢者支援金等分	2.50%	8,000円	9,000円	220,000円
介護保険分 (40歳から64歳まで)	2.10%	10,000円	7,000円	170,000円

Topics

水利が乏しい早見工業団地での火災を想定
宇美町消防団春の防火演習を視察

3月5日(日)に宇美町消防団による春季防火演習が、早見工業団地内の出火を想定して行われた。

自然水利が近くに無いため、500メートルを超える消火ホースを中継送水し消火活動が行われた。

放水までに大変な作業と時間を要する消火訓練であったが、一般交通車両のスムーズな誘導にも対処するなど消防団長の的確な指示の下での訓練であった。

課題として、各分団の更なる連携強化と工業団地内の水利確保の必要性がある。

議会としても、消防団員の確保と団地内の水利設置に取り組んでいきたい。



Topics

町道長谷～松ヶ本線歩道改良工事



2月16日(木)に開かれた総務建設常任委員会で、入札・随意契約結果報告が行われた。

町道長谷～松ヶ本線は貴船自治会から宇美小学校への通学路に指定されているが、歩道の幅が数十センチしかない部分があり、これまでに一般質問や予算・決算審査等で繰り返し危険性を指摘してきた。

3月末で歩道改良が完了、新学期にも間に合い、子どもたちが安心して通学できるようになった。

Topics 「のりーと宇美」AI搭載型バスの利用状況について

2月1日(水)に運行開始された「のりーと宇美」4台は、町民に順調に利用されている。運行開始後の利用状況は次のとおり。

【利用期間：令和5年2月1日～2月18日
運行日数：15日】

- ・利用者数 1,061名
(1日平均70.7名 直近5日間平均約91名)
- ・登録者数 1,512名
- ・平均待ち時間 約14分
- ・平均乗車時間 約8分

【住民に対するアプリ操作説明会の開催実績
(2月17日現在)】

- ・校別説明会 150名(5校区)
- ・自治会別説明会 106名(4自治会)
- ・利用者説明会 79名(10回開催)

【予約ツールの利用割合】

- ・アプリ(LINEを含む) 81.15%
- ・電話 18.85%

3月31日に廃止されたハピネス号に代わる「のりーと宇美」は、移動の利便性を高め、1人でも多くの町民の方に利用されることを期待する。



令和5年4月3日JR宇美駅前に冷暖房完備の快適な待合室が開設された



Topics 宇美町連合婦人会解散 ～77年間の活動に幕～

3月25日(土)に宇美町連合婦人会総会と解散式が開かれた。当日、会長よりこの日をもって婦人会の解散が報告された。

昭和21年に発足して以来77年間にわたり食育や交通安全活動、環境問題への取組など社会貢献活動や女性の社会的地位向上を目指す活動に取り組んできた。

婦人会としては解散となったが、廃油を利用した石けん造り活動は継続される。

これまでの活動に敬意を表するとともに、今後のそれぞれの活動に期待したい。



特集

3月定例会

当初予算審査特別委員会

一般質問

委員会活動報告

議会広報

第8弾

インタビューシリーズ

表紙にも掲載しています

子どもたちの笑顔とそれを支える方々に
スポットを当てていきます

目標に向かって頑張るぞ!



「部活と勉強を頑張り、友達もたくさん作って、充実した
中学生を送りたいです」

保育園の先生に入学報告

早見保育園でお世話になった先生に、
新入生が入学の報告にやってきました。
担任だった吉岡先生は「立派になった
卒園生に会えてとても嬉しかったです。
これからも保育園に遊びに来て
くださいね」と目を細めていました。



新入生のみなさん 入学おめでとうございます

4月12日(水)に中学校、13日(木)に小学校の
入学式が行われました。

新入生はマスクを外しての入学式で、恥ずかしい
気持ちもあってか、緊張した面持ちでした。

新しい環境に慣れて、楽しい学校生活を送ってほ
しいと願っています。



保護者、在校生、来賓からの温かい拍手で緊張も少し
ほぐれた様子。

6年生が新入生のお出迎え



桜原小学校の校門前で、6年生が「早く学校生活に慣
れてね。わからないことがあったら何でも聞いてね」と笑
顔で呼びかけていました。

議会傍聴メーター Gikaiboutyou Meter

2022年3月議会からの傍聴者 累計▶
3月定例会 傍聴者 11人

126

【発行責任者】

議長 古賀 ひろ子

【議会広報常任委員会】

委員長 丸山 康夫
副委員長 鳴海 圭矢
委員 入江 政行
委員 高橋 紳章
委員 安川 禎幸
委員 小林 孝昭



議会からのお知らせ

議会は年4回(3月・6月・9月・12月)
定例会が開かれます。

町ホームページからは本会議の生中継が
ご覧いただけます。

傍聴する場合は、役場3階の傍聴席入り口で
住所・氏名を記入ください。

次回の議会は
6月7日に開会予定です。